



スカイAカップ 2023プロボウリングレディース新人戦 6月10・11日/ボウリング王国スポーツ八景店

# 石田万音 デビューイヤーで 新人戦を卒業



2023レディース新人戦が、52期から55期の女子プロ28名及びアマチュア25名が参加して6月10、11の両日、神奈川・ボウリング王国スポーツ八景店で行われ、今年実技トップ合格の石田万音(フリー/ハイ・スポーツ社)がプロ初タイトルを獲得、1年目で新人戦卒業を果たした。(主催：(公社)日本プロボウリング協会 特別協賛：(株)スカイA)

▲デビュー戦のGlicoセブンティーンアイス杯は7位で初賞金をゲットしたが「ちょっと落ち込んでいた」と、あくまでも志は高い



▲「レーンも合っていたし、優勝しかないと思っていたけど…、来年リベンジしたい」と幸木

## 唯一のタイトルホルダー 幸木が貫禄のトップ通過

予選(8G)、準決勝(6G)の14Gトータル上位8名を決勝トーナメントに選出するが、昨年のジャパンオープン優勝で、すでにレギュラータイトルを持つ53期の幸木百合菜が、独走で貫禄十分にトップ通過を決めた。幸木には離されたが、アマ時代の実績も十分に、高校に在学のまま今年プロの世界に飛び込んだ石田が2位、3位に54期の両手投げ・横山実美、4位に今年がラストチャンス52期キム・ソヒョンと、各期が一人ずつ上位に入り、5位以下は、7位的美齊津理子(54期)を除き、森恵美、近藤菜帆、金子萌



▲8位通過だったので、とにかくうつつになっていくしかない、楽しんで投げられた」と金子

夏と55期生が占めた。7位通過的美齊津が1回戦で近藤、2回戦で横山を下して準決勝まで勝ち進んだ。その美齊津を準決勝で迎え撃ったのは石田。4フレまでともにストライクの応酬のあと、石田が5フレ



▲「石田プロとの準決勝は、力が入って投げミスが多かった。でもここまでこれで満足」と美齊津

⑩ピンタップで先に切れた。5フレもストライクでリードを奪った美齊津だが、7フレはポケットヒットも⑦⑨と割れてオープン。石田が6フレからのフォースで256:224と美齊津を退け、優勝決定戦に駒を進めた。

逆のゾーンでは、8位通過の金子が、1回戦で森を下すと、2回戦はキムを226:224と2ピン差退けた。幸木と金子の準決勝は、前半幸木が2つのダブルに対し、金子は2フレからターキーで、まったく互角の展開。後半はストライクがこなくなった金子を、幸木が10フレのパンチアウトで226:209で下して優勝決定戦へ進んだ。

幸木と石田の優勝決定戦は、石田が1フレから快調にストライクを連ねた。「パーフェクトはメッチャ意識していました。6フレがちょっと厚めのストライクだったので、1枚寄ったら7フレは⑩ピンタップでした」と石田。一方2、3フレ、5、6フレと2つのダブルの幸木は、ストライクで望みをつなぎたい8フレは、ややアンラッキーな⑦⑩スプリットで万事休す。236:201で快勝の石田が、デビュー2戦目の初タイトルで新人戦卒業を決めた。

## アマの部は高橋選手が制す

アマチュアの部は、準決勝までの14Gを2973で1位の渡辺莉央選手(エメラルドボウル)と2926で2位の高橋愛莉選手(フリー)が優勝決定戦で対戦したが、2マーク差を追いかける渡辺選手が、9、10フレ1投目とダブルだったが、2投目は④を残す9本カウントで、高橋選手が210:199で優勝を飾った。



▲ナショナルチームメンバーの渡辺選手を倒してアマの部優勝の高橋選手

## 今月の表紙

## 石田万音、期待に応える優勝

1日目はすごく緊張していたけど、2日目の準決勝からは、自分のゾーンに入った感じで、周りの点数も気にせず集中して投げられたのがよかった。決勝前はまた緊張感が高まっていたけど、師匠の平岡(勇人)プロ、中谷(優子)プロに電話をして「今のままで大丈夫だから」と言ってもらって、落ち着くことができた。

優勝決定戦は、練習ボールで全部のボールを試して、いちばん合っているなと思ったアブソリュートでいくことに決めた。準決勝のときと、ラインどりもほとんど変わらず投げやすかった。頭からストライクが続いてパーフェクトを意識したけど、

切れた時点からは勝負に気持ち切り替えた。

一昨年の中島(瑞葵)プロ、昨年の今井(双葉)プロと、トップ合格者の1年目の優勝が続いている、それは意識しないようにと思っても、お客さんからも言われるので、すごく意識があった。とくに中島さんとは1歳しか変わらない。デビュー戦のグリコセブンティーンアイス杯(7位)は、その中島さんが優勝するのを見て、すごく刺激を受けた。

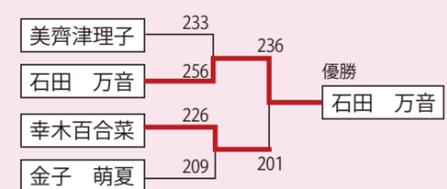
これまでオープン大会も出ていたけど、やはりプロのワッペンをつけて投げるのは全然違う。ナショナルチームのワッペンも重みがあったけど、プロは



賞金もかかっているの、また違った感覚です。初優勝の実感はまだ全然わいていないけど、とりあえず師匠の平岡、中谷プロに優勝報告ができるのがすごくうれしい。

優勝ボール: STORMアブソリュート

### ●決勝トーナメント



### ●優勝決定戦

幸木百合菜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	9	20	48	68	88	117	137	155	164	184	201
石田 万音	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	30	60	90	120	149	169	188	208	227	236	